令和２年度　臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：放射線科

第３期中期目標･中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。(塗りつぶし可)

□１．口腔領域における新規組織再生・再建法の開発
■２．高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発
□３．顎口腔機能の維持増進に関する研究
□４．歯科医学臨床教育の質保証に関する研究
□５．その他

研究期間：令和２年４月１日～令和３年３月 31 日

研究課題名：画像診断の正確性の向上 ^{18}F-FBPA を用いた PET 検査

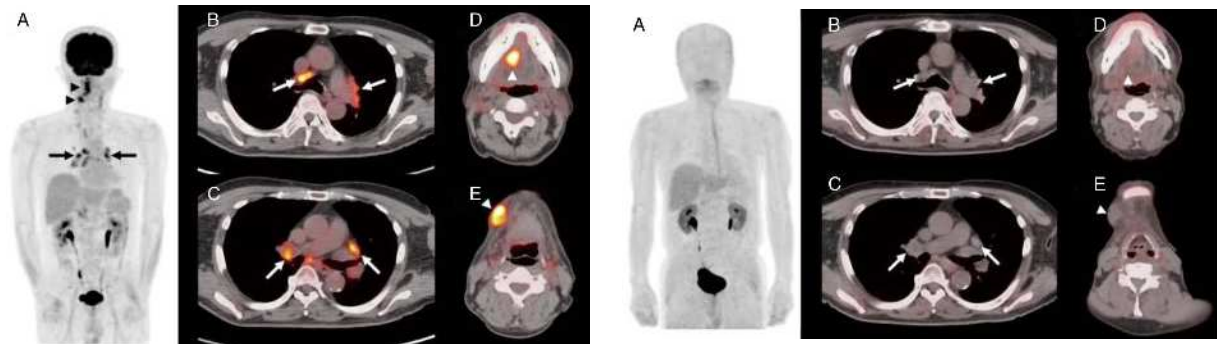
研究課題の概要及び成果：

これまで PET 検査の放射線医薬品として Glucose のアナログである FDG が用いられてきた。FDG は確かに扁平上皮癌などのがん組織に集積するが、炎症のみならず扁桃などの正常組織にも集積し、再発や転移の診断に苦慮することが多かった。今回我々は、FDG に代わる放射線医薬品として FBPA を用いて口腔癌の再発診断に応用したところ、従来の FDG が集積する部位に FBPA が集積せず、結果として再発でなかった症例を経験し、その有効性を確認した。

この成果は、Clinical Nuclear Medicine の 45 巻 15 号（2020 年）に、「18F-FBPA PET in Sarcoidosis. Comparison to Inflammation-Related Uptake on FDG PET」として掲載された。

上記概要・成果に関連する図表等

従来の FDG では数カ所に集積を認めたが、FBPA は集積せず再発のないことが確認できた。



当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のＢＯＸのいずれかにチェックを付してください。(塗りつぶし可)

□■関連がある
□　関連はない